

指定無形民俗文化財保存活動を実施した子どもたちを支援します。

〔25-0103 無形民俗文化財保護育成事業〕

新型コロナウイルス感染症により、活動が減少している指定無形民俗文化財保存活動の活性化を図ります。

予算額		2,744 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	330 千円
	一般財源	2,414 千円

※ 文化振興基金繰入金

指定無形民俗文化財後継者保護報償 330千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、発表・披露の場や練習する機会が減ってしまった指定無形民俗文化財（尾張旭市の棒の手、尾張旭市の打ちはやし、ざい踊り）保存会で活躍する小学生以下の子どもたちに、将来の後継者として末永く活動していただけるよう支援します。



尾張旭市の棒の手
(県指定文化財第23号)



尾張旭市の打ちはやし
(市指定文化財第4号)



ざい踊り
(市指定文化財第5号)

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	10	5	5	311頁	②豊かな心と知性を育むまちづくり	⑤文化の継承と振興	①文化財、伝統文化の保存と継承

教育委員会事務局 文化スポーツ課 文化振興係 0561-53-1144(直通) 0561-53-2111(代表) / 内線634
--

北原山土地区画整理組合を支援します。

〔31-0107 北原山土地区画整理事業〕

平成12年度から実施している北原山地区の土地区画整理事業に対し、財源をしっかりと投入して着実に事業進捗を図ります。

令和3年度当初予算		
予算額	909,400 千円	
財源内訳	国庫支出金	206,900 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	425,000 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	277,500 千円

北原山土地区画整理組合補助金等 979,400千円(繰越分(国の第3次補正予算対応分)含む)

北原山地区は、平成12年度から組合施行により土地区画整理事業を実施しています。令和元年度に第6回事業計画変更が認可され、令和15年度まで事業期間を延伸し、安全・安心で子育てしやすい良好な住環境の宅地を生み出すため、道路などの都市基盤整備を行っています。

令和3年度は、都市計画道路の早期供用開始に向け、建物移転を中心に事業が順調に行われるよう、北原山土地区画整理組合を支援します。

令和2年度補正予算繰越分		
予算額	260,000 千円	
財源内訳	国庫支出金	101,000 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	25,000 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	134,000 千円

○ 事業概要

- (1) 施行面積 53.2ha
- (2) 施行期間 平成12年度～令和15年度
- (3) 総事業費 24,628,000千円

- 事業進捗率(事業費ベース・令和2年度末数値)
約70%(対前年比3%増)



築造した都市計画道路(北原山2号線)

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	一般	8	4	2	241頁	③快適な生活を支えるまちづくり	①質の高い住環境の整備	①良好な市街地の形成

都市整備部 都市整備課 区画整理係
0561-76-8159(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線502

三郷駅周辺のまちづくりを推進します。

〔32-0202 三郷駅周辺まちづくり事業〕

市の拠点としてふさわしい駅前広場の整備や周辺のまちづくりのため、市街地再開発事業等の都市計画決定に向けた事務を進め、事業化を目指します。

予算額		15,000 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	15,000 千円

市街地再開発事業基本計画の策定 15,000千円

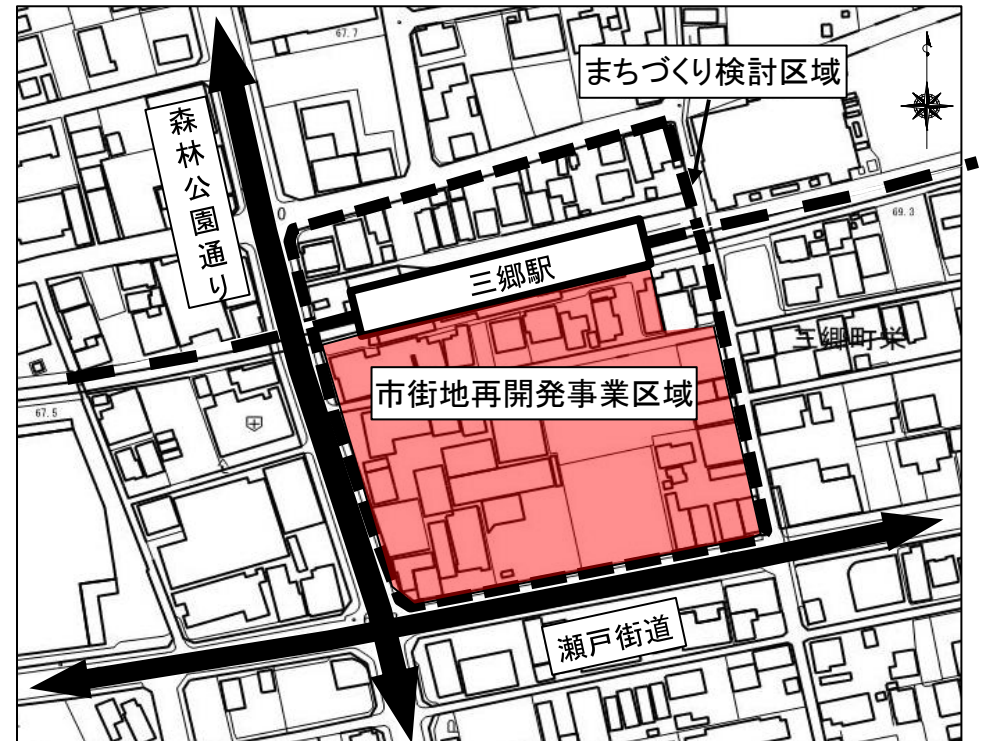
市街地再開発事業等の都市計画決定に向けた事務を進めるとともに、事業参加者を募集し、資金計画や建物配置などの検討を進めます。

地権者主体のまちづくり協議会や令和元年12月に発足した三郷駅前地区市街地再開発準備組合を支援します。

また、引き続き、愛知県や鉄道事業者との協議を進めます。

●都市計画決定に向けたスケジュール

- ・令和3年1月(実施) 都市計画(案)についての説明会
- ・令和3年4月(予定) 都市計画(案)の縦覧、意見書の提出
- ・令和3年6月(予定) 都市計画審議会
- ・令和3年8月(予定) 都市計画の告示



※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、都市整備部 都市計画課 三郷駅周辺整備推進室が所管します。

都市整備部 都市計画課 都市政策係
0561-76-8156(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線521

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	一般	8	4	3	243頁	③快適な生活を支えるまちづくり	②快適に移動できる交通基盤の整備	②駅・駅周辺施設の整備

印場駅のバリアフリー化整備を推進します。

〔32-0203 印場駅バリアフリー化整備事業〕

印場駅のバリアフリー化については、地元の方々との意見交換や鉄道事業者との協議結果を踏まえた段階的な整備方針のもと、駅南側から先行して整備することにより、早期に利便性向上を図ります。

予算額		12,500 千円
財源内訳	国庫支出金	5,000 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	7,500 千円

印場駅自由通路南側エレベーター設置工事設計委託 12,500千円

早期に着手可能な駅南側及び駅構内のエレベーターを先行して整備する方針とし、課題の多い駅北側を第2期整備として段階的に取り組みます。令和3年度は、印場駅南側から地下改札口までのアクセスを改善するためのエレベーター設置に係る実施設計を実施します。併せて、駅構内のエレベーター設置について、鉄道事業者との協議を進めます。

●今後のスケジュール

- ・令和3年度 実施設計（自由通路南側エレベーター）
- ・令和4年度（予定） 整備工事（自由通路南側及び駅構内エレベーター）



※下段の所管は、令和3年4月の組織改正に伴い、都市整備部 都市整備課 道路雨水整備係が所管します。

都市整備部 都市計画課 交通施策係
0561-76-8157(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線522
都市整備部 都市整備課 整備係
0561-76-8160(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線503

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	8	4	6	247頁	③快適な生活を支えるまちづくり	②快適に移動できる交通基盤の整備	②駅・駅周辺施設の整備

水道管の耐震化を推進します。

〔33-0203 上水道施設整備事業〕

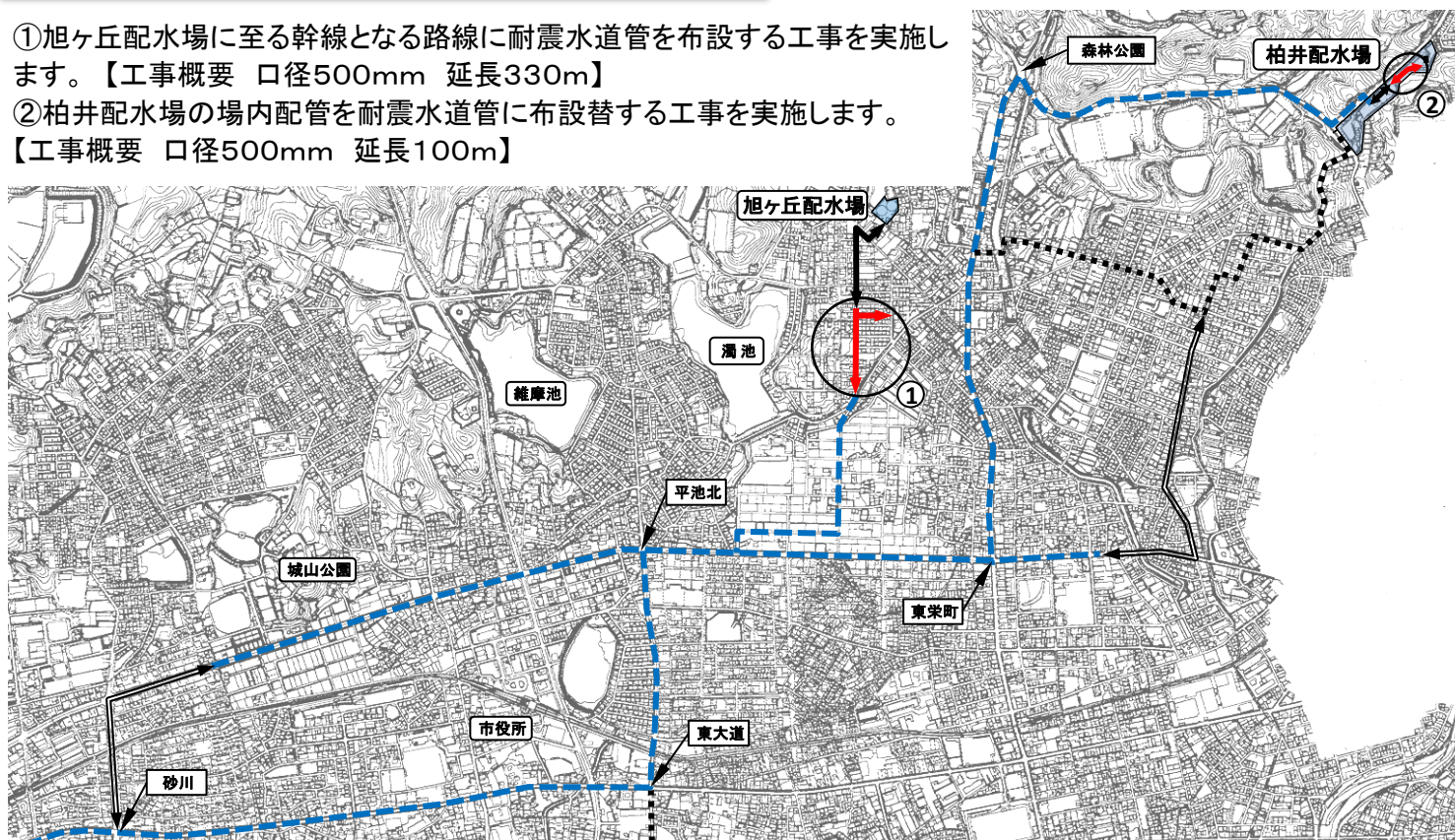
震災時においても水道水の安定供給を図るため、水道管の耐震化を進めます。

予算額		686,830 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	240,000 千円
	その他(※)	154,694 千円
	一般財源	292,136 千円

※ 工事負担金など

幹線水道管布設(替)工事 222,200千円

- ①旭ヶ丘配水場に至る幹線となる路線に耐震水道管を布設する工事を実施します。【工事概要 口径500mm 延長330m】
- ②柏井配水場の場内配管を耐震水道管に布設替する工事を実施します。【工事概要 口径500mm 延長100m】



- ◀▶ (Red double arrow) 令和3年度施工
- ◀▶ (Black double arrow) 令和4年度施工(予定)
- ◀▶ (Grey double arrow) 令和5年度以降施工(予定)
- (Blue dashed line) 既設幹線水道管(耐震管)
- (Black dotted line) 既設幹線水道管

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	水道事業	1	1	1	企会 195頁	③快適な生活を支えるまちづくり	③安全で安定した水の供給	②災害に負けたくない水道(強靱)

都市整備部 上水道課 工務係
0561-76-8169(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線561

衛生的で快適な下水道整備を推進します。

〔34-0101 汚水管渠整備事業〕

汚水管渠を計画的に整備することにより、快適で衛生的な生活環境の実現と河川等の水質保全を図ります。

令和3年度当初予算	
予算額	709,000 千円
財源内訳	
国庫支出金	190,500 千円
県支出金	0 千円
地方債	388,900 千円
その他(※)	0 千円
一般財源	129,600 千円

令和2年度補正予算繰越分	
予算額	110,000 千円
財源内訳	
国庫支出金	33,500 千円
県支出金	0 千円
地方債	76,500 千円
その他(※)	0 千円
一般財源	千円

下水道管渠設計及び測量委託料

25,000千円

新居地区の汚水管渠整備にかかる実施設計業務を委託します。

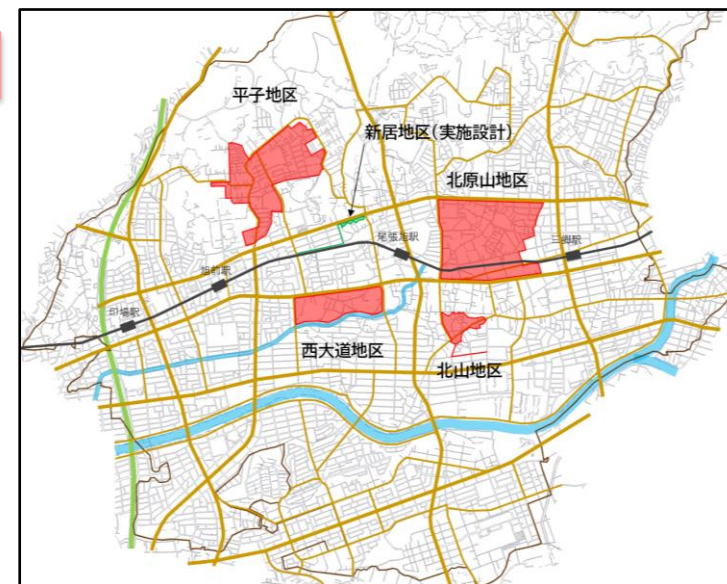
下水道管渠布設工事

590,000千円(繰越分(国の第3次補正予算対応分)含む)

汚水管渠を計画的に整備し、水洗化の普及促進を図ります。

<主な整備地区>

- 平子地区
- 西大道地区
- 北原山地区
- 北山地区



区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	公共下水道事業	1	1	1	企会 241頁	③快適な生活を支えるまちづくり	④衛生的で快適な下水道の整備	①汚水管の整備促進

都市整備部 下水道課 工務係
0561-76-8166(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線574

東部浄化センターの改築工事を実施します。

〔34-0206 浄化センター長寿命化対策事業〕

浄化センターの電気設備及び機械設備について、予防保全的な管理を行うことにより、故障の未然防止と耐用年数の延伸を図ります。

予算額		574,500 千円
財源内訳	国庫支出金	311,100 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	234,000 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	29,400 千円

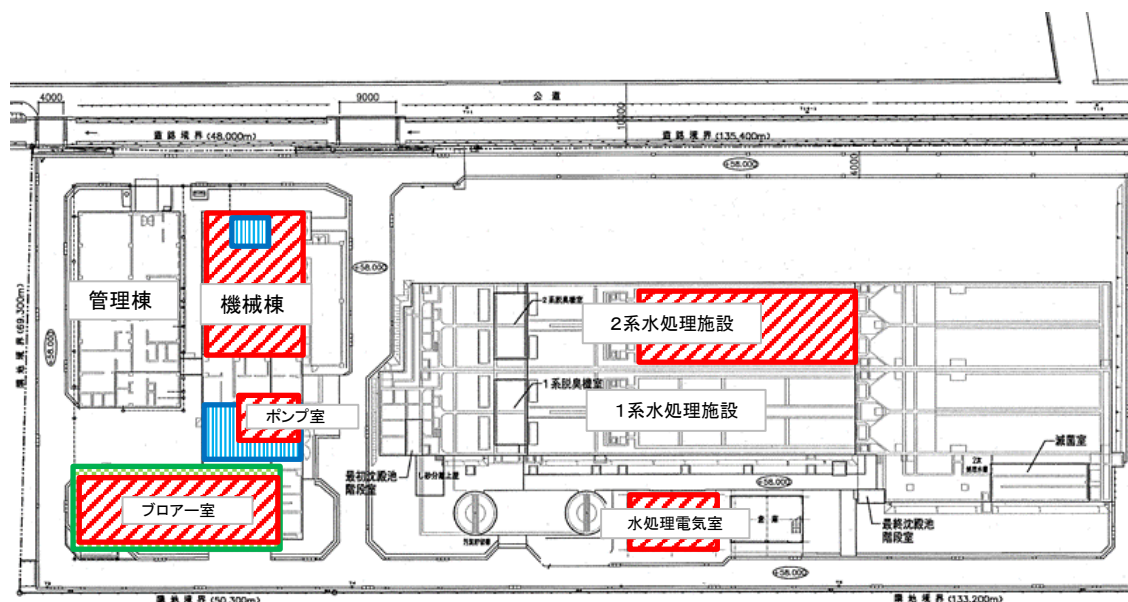
東部浄化センター改築工事委託 574,000千円

停電や施設故障による機能停止を防ぐために、受変電設備や汚水ポンプ設備等の改築工事を実施します。

予定総工事費 1,134,000千円

【年度計画】

- ・令和2～3年度 受変電・自家発電設備更新工事
水処理電気設備更新工事
污泥処理計装設備更新工事
非常照明設備更新工事
- ・令和3～4年度 汚水ポンプ設備等更新工事
- ・令和4～5年度 污泥搬送・貯留設備更新工事



令和2～3年度工事
 令和3～4年度工事
 令和4～5年度工事

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	公共下水道事業	1	1	2	企会 241頁	③快適な生活を支えるまちづくり	④衛生的で快適な下水道の整備	②処理施設の整備と維持管理

都市整備部 下水道課 工務係
0561-76-8166(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線574

防災アプリ、電話及びFAXによる防災情報の配信を行います。

[41-0201 防災行政無線等管理事業]

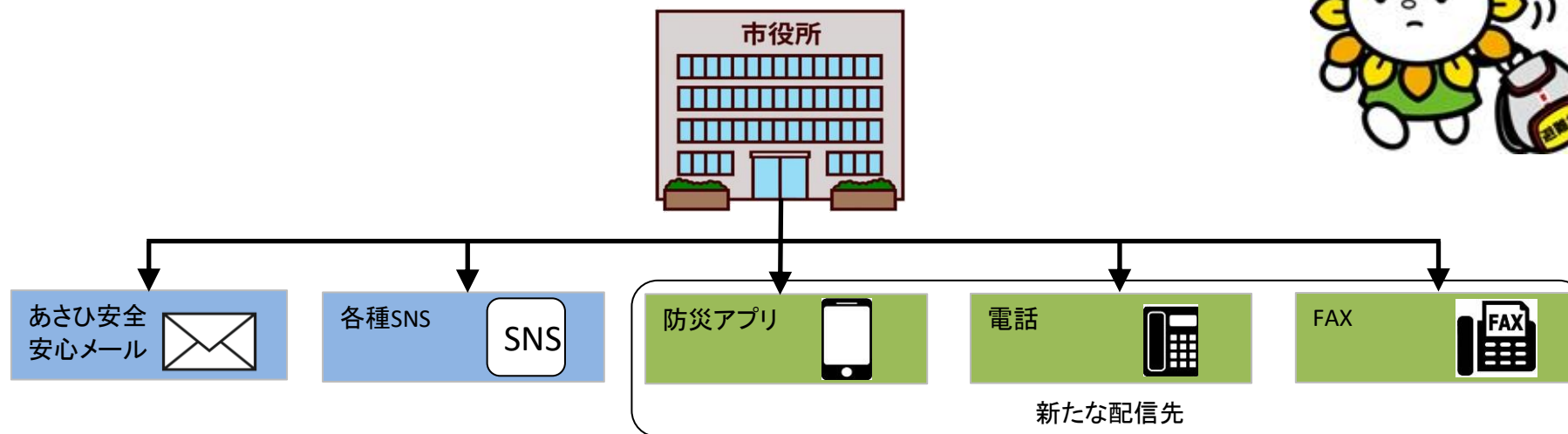
防災情報伝達システムの運用を開始し、より多くの方へ迅速に防災情報伝達ができるようにすることで、防災対策の推進を図ります。

予算額		10,299 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	10,299 千円

防災情報伝達システムの運用 3,300千円

このシステムでは、あさひ安全安心メールや各種SNS等での配信に加え、多言語での配信を行う防災アプリ、携帯電話・スマートフォンをお持ちでない方や耳の不自由な方などを対象に電話やFAXによる防災情報の配信を行います。

また、防災情報を様々な配信先に一斉に配信を行うことにより、迅速に多くの方への伝達が可能となります。



※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、総務部 危機管理課 災害対策係が所管します。

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
拡充	一般	9	1	4	265頁	④安全で安心なまちづくり	①防災・減災対策の推進	②災害情報システムの充実

総務部 災害対策室 災害対策係
0561-76-8127(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線381

高低所救助消防ポンプ自動車を導入します。

〔42-0202 消防車両購入事業〕

15m級はしご付消防ポンプ自動車を、多様な災害にも対応することができる高低所救助消防ポンプ自動車へ更新します。

消防車両購入

(債務負担行為)

高低所救助消防ポンプ自動車は13mのバスケット付きクレーンを有した消防ポンプ自動車であり、15m級はしご付消防ポンプ自動車の主な活動範囲である中層建物火災(3、4階建て)の活動の質の担保はもとより、一般建物火災や低所救助活動においても活動の幅を広げることのできる車両となります。



■高低所救助消防ポンプ自動車

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	9	1	3	-	④安全で安心なまちづくり	②消防・救急体制の充実	②消防力の強化

消防本部 消防総務課 庶務係
0561-51-0860(直通)
0561-51-0119(代表) / 内線34

名古屋市や瀬戸市等と消防通信指令業務の共同運用に向けた協議を進めます。

[42-0904 消防業務広域化検討事業]

名古屋市、瀬戸市及び他5消防本部(消防組合を含む。)との通信指令業務の共同運用に向け、システム工事の実施設計を行います。

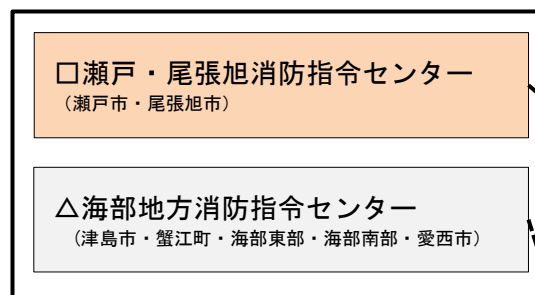
予算額		1,000 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	1,000 千円

指令管制システム実施設計費負担金 1,000千円

下記消防本部等と通信指令業務の共同運用に向けた検討を実施し、令和2年10月に「指令業務の共同運用に関する基本協定」及び令和3年度に行う「実施設計業務に関する協定」を取り交わしたため、令和7年4月からの共同運用開始を目指した協議を進めていきます。

【指令業務の共同運用に関する基本協定における消防本部等】

- | | | |
|-----------|---|-----------------|
| □尾張旭市消防本部 | } | 瀬戸・尾張旭消防指令センター |
| □瀬戸市消防本部 | | |
| ●名古屋市消防局 | | 名古屋市消防局防災指令センター |
| △津島市消防本部 | } | 海部地方消防指令センター |
| △蟹江町消防本部 | | |
| △海部東部消防組合 | | |
| △海部南部消防組合 | | |
| △愛西市消防本部 | | |



●消防通信指令業務を名古屋市消防局防災指令センターに事務委託し共同運用を実施

【運用開始までのスケジュール(予定)】

- 令和3年度 実施設計業務
- 令和4～6年度 システム工事
- 令和7年度 運用開始



※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、消防本部消防総務課 消防政策係が所管します。

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
拡充	一般	9	1	1	253頁	④安全で安心なまちづくり	②消防・救急体制の充実	⑨施策の総合推進

消防本部 消防総務課 庶務係
0561-51-0860(直通)
0561-51-0119(代表) / 内線34

地域消防防災施設を開所します。

[42-0905 地域消防防災施設管理運営事業]

新池北西側に消防団第六分団車庫を移転し、救急車の配備について検証を実施します。

予算額		1,450 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	1,450 千円

地域消防防災施設の開所

地域消防防災施設の運用を令和3年6月に開始し、消防団第六分団の移転運用、矢田川以南非常配備体制、地域住民に対する防災啓発を実施するとともに救急車の配備について検証を実施します。

また、地域住民の皆さまからの愛称の公募及び投票の結果、施設愛称を「ほんまる」に決定し、市民の皆様から、末永く親しまれる施設としていきます。

救急車配備の検証

令和3年10月(予定)から地域消防防災施設に救急要請需要の多い平日の日中に救急車を配備し、日勤救急隊の試行運用を開始するとともに救急車の現場到着時間短縮における検証を行います。



地域消防防災施設 完成イメージ図



消防団第六分団車庫移転



【スケジュール】

- 令和3年6月 消防団第六分団車庫移転及び運用開始
矢田川以南非常配備体制の運用開始
地域住民への防災啓発活動開始
- 令和3年10月 日勤救急隊試行運用開始(予定)

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	9	1	1	253頁	④安全で安心なまちづくり	②消防・救急体制の充実	⑨施策の総合推進

消防本部 消防総務課 庶務係
0561-51-0860(直通)
0561-53-0119(代表) / 内線34

自転車用ヘルメットの購入費を補助します。

[43-0101 交通安全啓発事業]

交通事故を減らすため、市民一人ひとりの交通安全意識を高め、安全で安心なまちづくりを目指します。

予算額		4,536 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	1,000 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	3,536 千円

自転車用ヘルメット着用促進事業費補助金 2,000千円

自転車乗車中の交通事故死者の66.7%は主に頭部の損傷が原因であり、ヘルメットを正しく着用することで死者の割合がおよそ1/4に低減すると言われ、ヘルメットの着用は人的被害の重大化防止に有効であるとされています。

自転車の安全な利用を促進するため、自転車用ヘルメットの購入費を補助します。

- 補助率 購入費用の1/2
- 補助金 上限2,000円(1人につき1個まで)
- 対象者 市内在住で
 - ・7歳以上18歳以下の児童生徒等
 - ・65歳以上のかた
 ※対象となるヘルメットは、安全性の認証(SGマーク、JCFマークなど)を受けたもの

この事業は愛知県と協調して行う事業で、県から1/2の補助を受けて実施するものです。



区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	2	1	14	117頁	④安全で安心なまちづくり	③交通安全対策の推進	①交通安全意識の高揚

市民生活部 市民活動課 交通防犯係 0561-76-8128(直通) 0561-53-2111(代表) / 内線373

市道南栄6号線の整備を実施します。

[43-0311 南栄6号線整備事業]

南栄町交差点から、南栄6号線と3号線が交差する地点までの道路を拡幅し、安全性を高めます。

予算額		49,000 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	22,000 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	20,000 千円
	一般財源	7,000 千円

※ 公共施設整備基金繰入金

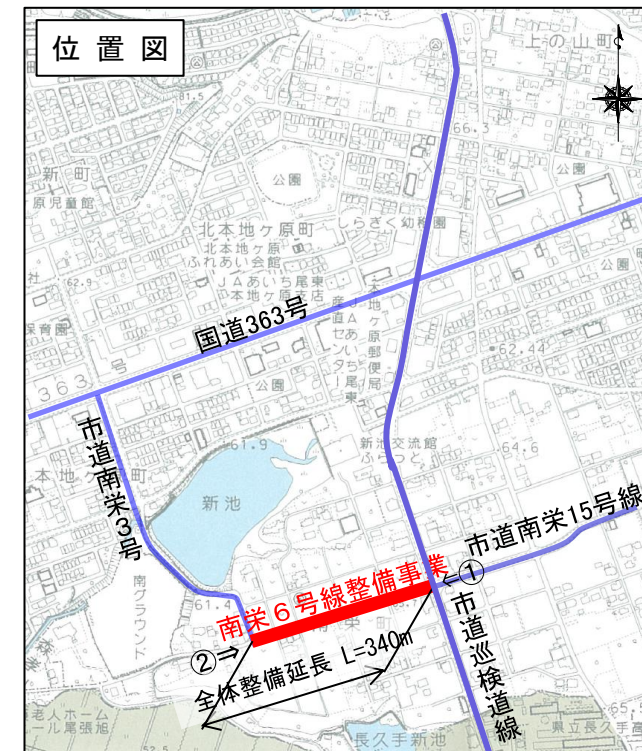
用地購入等の実施 49,000千円

南栄6号線は巡検道線の渋滞を避けるための通過車両が増加していることから、通学で利用する歩行者や自転車利用者の安全の確保と本市南部の道路ネットワークの構築を目的として、南栄6号線の道路拡幅整備を実施します。

① 南栄町交差点



② 市道南栄6号線、3号線交差点



※下段の所管は、令和3年4月の組織改正に伴い、都市整備部 都市整備課 道路雨水整備係が所管します。

都市整備部 土木管理課 庶務係
0561-76-8162(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線512
都市整備部 都市整備課 整備係
0561-76-8160(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線503

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	一般	8	2	4	237頁	④安全で安心なまちづくり	③交通安全対策の推進	③交通安全環境の整備

市道巡検道線の自転車道整備に着手します。

[43-0312 道路改良事業]

「一般道を活用した試行的な自転車道」の整備を進めるうえで、短期の整備が可能な試行区間として市道巡検道線を設定し、試行的な自転車道の整備を進めます。

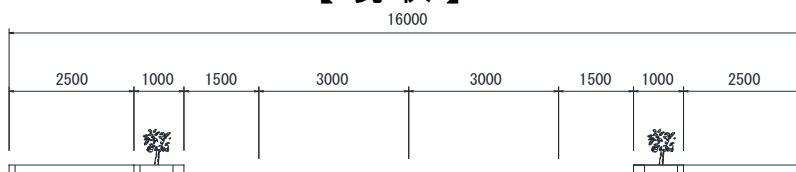
自転車道整備工事実施設計等の実施 5,000千円

令和3年度は、自転車道整備工事に向けた実施設計を行うとともに、関係機関（県、警察等）と協議を進めます。

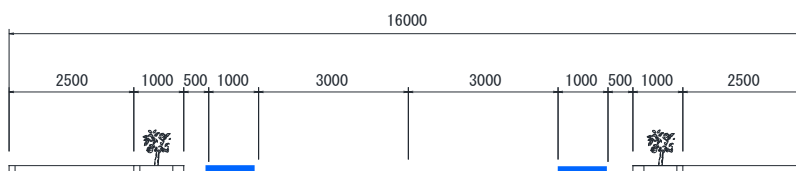


標準断面図

【現状】



【整備案】



自転車通行帯

自転車通行帯



予算額		12,500 千円
財源内訳	国庫支出金	3,000 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	4,000 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	5,500 千円

※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、都市整備部 都市整備課 道路雨水整備係が所管します。

都市整備部 都市整備課 整備係
0561-76-8160(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線503

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	8	2	4	235頁	④安全で安心なまちづくり	③交通安全対策の推進	③交通安全環境の整備

市道霞ヶ丘9号線の整備を進めます。

[43-0312 道路改良事業]

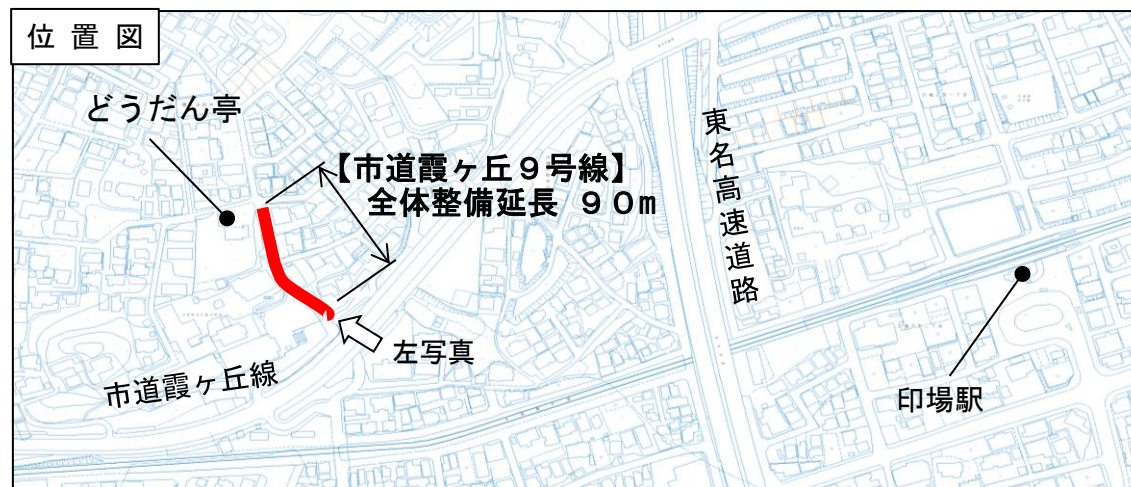
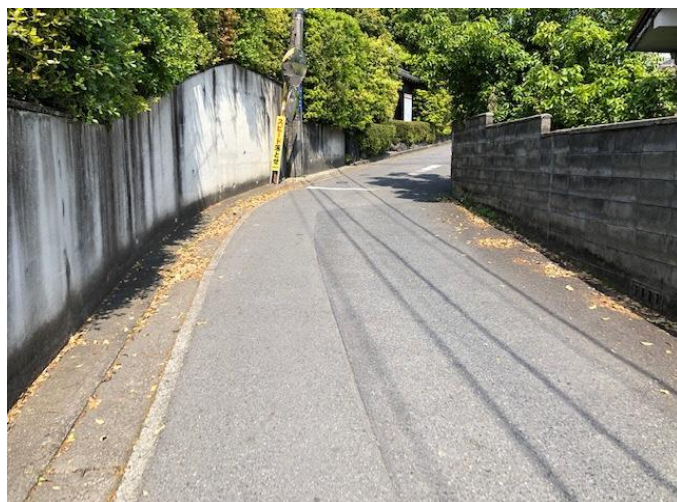
市営バスあさび一号の経路にもなっている当該地区の主要道路、市道霞ヶ丘9号線の道路幅を拡幅し、利用者の安全性・利便性を高めます。

工事実施設計の実施 7,500千円

道路拡幅整備に当たり、現道の測量を行うとともに歩道や車道の形状を決定する実施設計を行います。

拡幅用地購入の実施 35,500千円

道路拡幅整備に必要となる道路隣接地を購入します。



※下段の所管課は、令和3年4月の組織改正に伴い、都市整備部 都市整備課 道路雨水整備係が所管します。

都市整備部 土木管理課 庶務係
0561-53-8162(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線512
都市整備部 都市整備課 整備係
0561-53-8160(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線503

土木管理課		
予算額	35,500 千円	
財源内訳	国庫支出金	14,200 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	19,200 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	2,100 千円

都市整備課		
予算額	12,500 千円	
財源内訳	国庫支出金	3,000 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	4,000 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	5,500 千円

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
継続	一般	8	2	4	235頁 237頁	④安全で安心なまちづくり	③交通安全対策の推進	③交通安全環境の整備

自然環境基礎調査を実施します。

[53-0901 自然環境基礎調査事業]

生物多様性の保全をはじめ、今後のまちづくりのあり方に関する検討等を行う際の基礎資料とするため、市内の自然環境の分布や動植物の生息・生育状況に関する実態調査を行います。

予算額		1,500 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	1,500 千円

自然環境調査委託 1,500千円

本市の自然環境に関する既存の調査結果や文献資料等の収集整理、自然環境の保全活動を行う市民団体等へのヒアリング調査及び季節毎の実地調査等を実施します。

なお、自然環境基礎調査は令和3年度から令和4年度までの2か年で実施します。
(令和4年度債務負担行為限度額6,500千円)



区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	4	1	6	201頁	⑤環境と調和したまちづくり	③身近な緑・水辺環境の保全と創出	⑨施策の総合推進

市民生活部 環境課 環境保全係
0561-76-8136(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線362

旭平和墓園のバリアフリー化を推進します。

[54-0401 旭平和墓園運営事業]

旭平和墓園の一般墓地区画内通路の舗装及びスロープの設置を進めます。

予算額		23,753 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	23,389 千円
	一般財源	364 千円

※ 永代使用料など

バリアフリー化設計委託 9,500千円

一般墓地4区画(A・B・C・L)において、区画内通路の舗装及びスロープ設置を進めるため、実施設計を行います。(G・K区画は実施済)



G区画スロープ



K区画内通路(舗装)



区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
拡充	旭平和墓園事業	1	1	1	特会 73頁	⑤環境と調和したまちづくり	④生活衛生環境の向上	④墓園の管理

市民生活部 環境課 環境政策係
0561-76-8134(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線361

産業立地を推進します。

〔62-0101 産業立地推進事業〕

市内の商工業振興のため、令和2年度に引き続き産業立地施策の基礎となる調査を実施します。また、市内に20年以上立地する事業者による工場の新設に対して補助金を交付することで、産業立地を推進します。

予算額		23,879 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	10,615 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	13,264 千円

産業振興基礎調査委託 2,618千円

令和2年度から3年度の2か年で調査を実施し、調査結果をもとに既存企業への支援、新たな産業成長分野の可能性や企業誘致などを検討していきます。令和2年度は、関連計画、施策等の整理及び分析等を実施しました。

<令和3年度の予定>

- 4～8月 企業アンケート、ヒアリング
- 8～10月 上記に基づく課題、将来予測等の分析
- 9～12月 産業における本市の特長等の分析

企業再投資促進補助金 21,231千円

本補助金は、市内に20年以上立地しているなどの条件を満たす企業の市外への流出防止及び雇用の維持拡大等を図るため、愛知県と連携して、工場の新増設等の投資額の10%（市5%・県5%）を支援するものです。今回、市内事業者の再投資事業が令和2年12月に愛知県新あいち創造産業立地補助金（Aタイプ）に採択されましたので、本市では平成27年度に補助制度を創設して以来、初めての交付となります。

<事業者の概要>

- 市内立地：昭和56年
- 業種：機械・金属関連産業（県の指針に基づく重点的に促進すべき業種）
- 工場新設場所：井田町四丁目地内



区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	7	1	2	223頁	⑥活力あふれるまちづくり	②工業の振興	①地域工業の活性化

市民生活部 産業課 にぎわい交流係 0561-76-8137(直通) 0561-53-2111(代表) / 内線359

農業振興地域整備計画を策定します。

[63-0101 農業振興地域整備計画策定事業]

営農状況や総合計画等との整合性を図りながら、良好な農業振興を図るべき地域において、無秩序な土地利用を防止し、優良な農地の確保とその効率的な利用を図り、計画的に推進することを目的に農業振興地域整備計画の策定(見直し)を実施します。

予算額		1,800 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	1,800 千円

農業振興地域整備計画策定委託 1,800千円

令和3年度から4年度の2か年で計画を策定します。

<令和3年度>

- ・基礎調査
- ・農家意向調査
- ・整備計画素案作成

<令和4年度> (2,200千円(債務負担行為))

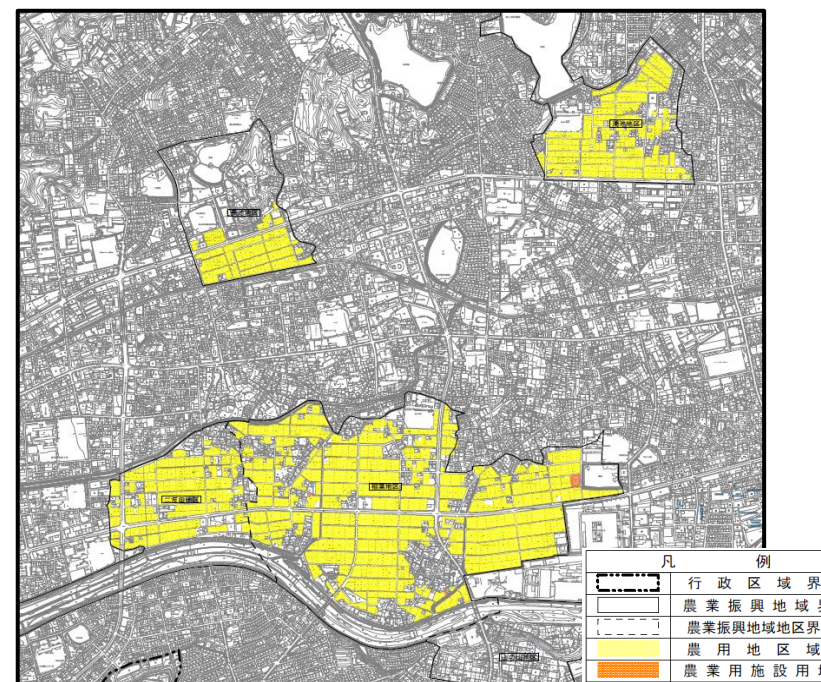
- ・整備計画※作成
- ・許認可資料作成

※整備計画：農用地利用計画、農業生産基盤整備及び開発計画、農用地等の保全計画など

(参考)

計画策定年度：昭和49年度

計画見直し年度：昭和55年度、平成5、13、20、24、29年度



成果品イメージ：農用地利用計画における土地利用計画図

※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、市民生活部 産業課 農業支援室 農業支援係が所管します。

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	6	1	3	217頁	⑥活力あふれるまちづくり	③農業の振興	①農地の保全

市民生活部 産業課 農政係
0561-76-8133(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線355

スカイワードあさひの外壁等を改修します。

〔71-0202 スカイワードあさひ・旭城維持管理事業〕

安全性の確保と施設の長寿命化を図ることを目的とした、外壁等の改修工事を実施します。

予算額		249,243 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	180,900 千円
	その他(※)	18,000 千円
	一般財源	50,343 千円

※ 公共施設整備基金繰入金

スカイワードあさひ外壁等改修工事 201,000千円

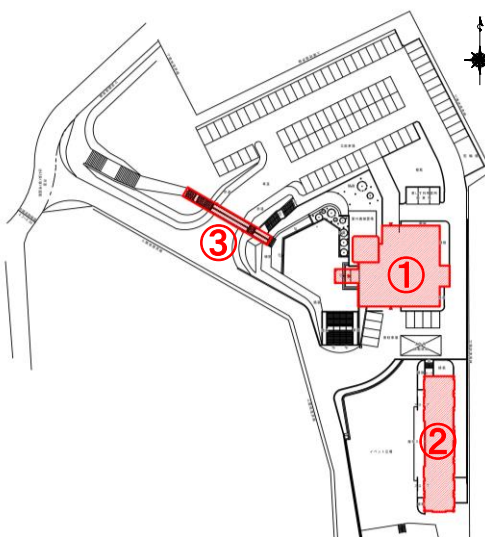
スカイワードあさひ、別館イベントステージ及び階段通路の外壁等の改修を行います。

○工事内容

- ・ 目地シーリング打ち替え
- ・ 外壁、庇等の塗装塗替え
- ・ エキスパンションジョイントの一部更新
- ・ 展望室内装改修（床タイル張替え、壁塗替え）
- ・ イベント広場の舗装改修（不陸修正）
- ・ 階段通路床面の防水工事（床タイル張替え）

○スケジュール

- ・ 令和3年5月着手（予定）
- ・ 令和3年9月完了（予定）



配置図



①スカイワードあさひ



②別館イベントステージ



③階段通路

※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、総務部 財政課 施設係が所管します。

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	2	1	8	103頁	⑦人と人がふれあうまちづくり	①市民によるまちづくり活動の推進と支援	②コミュニティ施設の整備と利用促進

総務部 財産経営課 施設係
0561-76-8115(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線266

マイナンバーカード申請・交付体制の充実を図ります。

[82-0403 住基ネットワーク・マイナンバーカード運用事業]

令和3年3月からの健康保険証機能の追加や同年9月まで延長されたマイナポイント事業により、マイナンバーカードの交付枚数が増加することが予想されるため、カード申請・交付体制を充実します。

	予算額	71,823 千円
財源内訳	国庫支出金	67,245 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	4,578 千円
	一般財源	0 千円

※ 戸籍住民基本台帳等手数料

マイナンバーカード交付体制の強化・出張受付の実施 24,507千円

○充実する主な内容

- ・職員を増員します。
- ・商業施設、会社及び団体などにおいて、出張受付を行います。
- ・事務処理時間の短縮を図るため、申請補助用タブレット端末を導入します。

○マイナポイント事業

マイナンバーカードを活用した消費活性化策で、マイナンバーカードを申請後、民間キャッシュレス決済サービスを一定額利用した場合に、国がポイントを上乘せして付与するものです。

[期間]

令和3年3月末⇒同年9月末まで延長



【おもて面】



【うら面】

マイナンバーカード



商業施設での出張受付

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
拡充	一般	2	3	1	131頁	⑧分野横断的なまちづくりと市政運営	②行財政運営の推進	④広域行政の推進

市民生活部 市民課 市民係
0561-76-8130(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線391

RPAを導入・活用し業務効率化を推進します。

[82-0512 AI・RPA推進事業]

自治体の業務の多くは、業務システム等により自動処理を行っていますが、まだまだ職員の手作業も残っています。また、事務作業や定型業務の占める割合が大きいので、RPAで自動化可能な業務が数多くあります。RPA導入によって、大幅な業務効率化と労働時間の削減を図ります。

予算額		5,576 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	0 千円
	一般財源	5,576 千円

RPA環境の構築及び職員操作研修等 3,960千円

各部署がスムーズにRPAを活用できるよう職員操作研修を開催するとともに、導入後の運用サポートを受けられるようにします。

※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)とは

事業プロセス自動化技術の一種で、今まで人が行っていた定型作業を、パソコンにインストールしたソフトウェアロボットが代行・自動化する概念のことです。

～RPAを自治体に導入するメリット～

○業務の効率化、労働時間の削減

業務の多くが自動化でき、労働時間及び人件費の削減につながります。

○ペーパーレス化

紙を介さずに手続きや処理ができるので、書類の量及び保管場所の削減につながります。

○人的ミスの削減

業務を自動化することで、人間の関わる作業が減り、人的ミスの削減につながります。

○労働環境の改善と人手不足の解消

労働時間の短縮は働き方改革の推進にもつながります。労働環境の改善や、労働者人口の減少による人材不足の解消につながります。

※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、企画部 情報政策課 デジタル推進係が所管します。

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
新規	一般	2	1	10	111頁	⑧分野横断的なまちづくりと市政運営	②行財政運営の推進	⑤情報化の推進

企画部 情報課 情報推進係
0561-76-8107(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線231

尾張旭まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)の拡大を図ります。

[82-0966 尾張旭まちづくり応援寄附金管理事業]

尾張旭まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)の返礼品として、市内の魅力ある商品を積極的に取り上げ、尾張旭市を全国にPRするとともに、尾張旭市まちづくり応援寄附金(ふるさと納税)の寄附増額を図ることで、市内の消費拡大と事業者支援につなげます。

予算額		8,718 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他(※)	5,001 千円
	一般財源	3,717 千円

※ 尾張旭まちづくり応援寄附金など

ふるさと納税ポータルサイトの追加 470千円

利用できるふるさと納税ポータルサイトを増やし、より多くの方からの寄附を募ります。

返礼品業務委託 3,000千円

福祉事業所など、様々な分野の事業者の皆様とも連携しながら、ふるさと納税返礼品を充実することで、市内事業者の売上増と、尾張旭市の魅力向上を図ります。

【返礼品(令和2年度に追加した物の例)】



米(JAあいち尾東)



しいたけ(eファーム)
※福祉事業所



アロマストーン
(ゼロファースト)
※福祉事業所



焼き菓子・パウンド
ケーキセット(高砂
ベルシュ)



ヤーコンセット(マル
チファーム みうら)



マスク(ブレース・
フィット)



はちみつ(松井隆昭)



インソール(NASYU)

※この事業は、令和3年4月の組織改正に伴い、総務部
財政課 財政係が所管します。

区分	会計	款	項	目	予算書	政策	施策	基本事業
コロナ	一般	2	1	6	101頁	⑧分野横断的なまちづくりと市政運営	②行財政運営の推進	⑨施策の総合推進

総務部 行政経営課 財政係
0561-76-8113(直通)
0561-53-2111(代表) / 内線263・264